

人 口 (男) …4,569人
(女) …4,918人
合 計 …9,487人
5 月中の転入 ……13人
転出 ……31人
世 帯 数 …2,314世帯数
(58年5月末日/住民登録調べ)

この海に悲しみ深く 南小学校13児童が殉難



五月二十六日日本海中部地震

五月二十六日正午、秋田沖でマグニチュード七・七の地震が発生。社会見学の途中、海岸で昼食をとろうとしていた南小学校の四、五年生四十五名が津波にのみこまれました。遭難現場の男鹿市加茂青砂のみなさんの必死の救助の中で、十三名の児童が殉難。無言の家路につきました。

学区の各部落で葬列が続く、町全体が悲しみに沈む中で、六月五日、南小学校体育館で合同告別式が行われました。会場に入り切れないほどの参列者のすすり泣きとお別れの言葉の中で、祭壇では、十三児童の遺影が笑顔をかいていました。

殉難現場での慰霊祭は、六月十二日に行なわれました。「もう海を見たくない」と語っていた四、五年も、次々に献花。好きだったものやお菓子供える遺族のかたがたの姿が、新たな涙をさそっていました。(写真Ⅱ 殉難現場の慰霊塔に合掌)

男鹿市加茂青砂海岸で

お別れのことば

もう一度大きな声を

児童代表 五年 福岡 真理子

わたしたちは、運動会には精いっぱいがんばりましたね。もちつき大会を夢みながら、社会見学前には、田植えもすませましたね。

そして、五月二十六日。社会見学の朝。校長先生にVサインを送り、「みやげ話をたくさん持ってきてます」と元気に出発しました。

マイクロスコープにゆられ、若葉の峠を越え、秋田市内見学を楽しくすませ、待望の男鹿の海岸へ到着しました。

青々とした海と静かな波が、「ようこそ、合川南小のみなさんお待ちしていました。」というようにわたしたちを心よくむかえてくれました。

広々とした海をすばらしさと美しさに、思わず両手を大きく広げ、深呼吸したわたしたちで、お母さんが、心をこめて作ってくれたお弁当を食べるのが、とても待ちどろしいかった。

車を降ると、海がめざして一目散に走り出しました。何日も前から夢にまでみていた海に向って。

友だちと一番よい場所を探し、昼ごはんを食べる準備をしていた時、急に大きな波が岩にぶつかってきました。

後ろから逃げろ逃げろと、さけぶ声にハットして、夢中で逃げましたが、波は、あとからあとから、わたしたちを追いかけ、広い広い海にすいこんでしまいました。「お父さん助けて、お母さん助けて」と力いっぱいさけびました。

それでも波は、わたしたちを息をつくこともできない暗い暗い海の底にすいこんでいきました。

わたしたちは、みんないい子でした。仲よしのいい子でした。それなのに、どうしてあんな悪魔におそわれたのでしょうか。くやしくてくやしくてなりませ

仲よしのいい子の友達十三名の尊い命までうばってしまったのです。あの海にいく。津波がにくくてなりません。

わたしたちは、幸にも生きてみなさんの前にいます。どこからかみなさんが、「ジャンケンしようか」「それともかけっこしようか」「いや、バレーボール練習しようよ」と声をかけてきそうになりません。今でも、月曜日からみんなグループ登校ができてそうなのがうれしい。

天国にいったみなさん、自分の一番好きな歌を、もう一度大きな声で歌ってきかせてください。

わたしたちは、みなさんの声、大きな声を出してください。みなさんは、もうわたしたちとお父さんお母さんとも、兄さん姉さん妹たちとも、お話のできない遠い遠い天国に行ってしまった。

みなさん、どうか天国で十三名輪になって、仲よくすごしてください。

わたしたちに残された九十五名は、これからみなさんの分も力いっぱいがんばります。もともとよい子になりました。仲よしのいい子になりました。もともとよい学校にするようにがんばります。

もし、わたしたちがくじけそうになったら、なまけんぼしていたら、「がんばれ、しっかりやれよ」と、天国から大きな声でしけてください。

わたしたちは、天国で十三名のみなさんが仲よくくらしてくれることを祈っています。

信子さん、民子さん、晃子さん、史穂子さん、宗昭さん、久也さん、綾子さん、紀子さん、有希子さん、卓也さん、岳彦さん、正義さん、忍さん、どうぞ天国でやすらかにやすみください。

さようなら、さようなら。

十三人のお友だちをしのんで

みんな仲間でした

児童会長 六年 御所野 真

五月二十六日、それはわたしたち合川南小学校にとって、楽しい日であったはずでした。

六年生は函館へ、四年生五年生は男鹿方面へ、三年生は大館方面へ、一年生二年生はたかの巣方面へ。四年生五年生の男鹿方面へ社会見学というのはいすばらしいことでした。

楽しみにしていた海。ここで、みなさんが、あの悲惨なことになってしまったのです。

今も海のむこうから元気に泳いで来るようになりません。昼食がちがずき、食べようとして行つたみんな。僕たちも船の中で津波を見ました。その時、あの大津波がきたのです。お母さんの作ってくれた心のこもったお弁当を食べるひまもなく、みんなをあの津波がおそったのです。

お父さん助けて お母さん助けて。先生助けて。もがいて、もがいたことでした。力つきた十三人は、その

大津波をにくかつたでしょう。わたしたちに一つこの海が、いかりくをあたえたこの海が、いかりくをあたえたために十三人の命を、十三人のゆめをうばったのです。あの美しい海は、にくいくという感じが頭にありません。

お母さんの作ってくれたお弁当を食べたかったでしょう。寒かったでしょう。みんないい子で、ぼくたちの仲間でした。

それなのに、なぜ十三人を、そして小さな学校を悲しい心にさせたのでしょうか。わたしたち児童会は、これからどうしてすごしていくのか、ただぼうぜんとするばかりです。

卓也君、岳彦君、忍君、久也君、宗昭君、正義君、信子さん、民子さん、綾子さん、晃子さん、史穂子さん、有希子さん、紀子さん、この海をにくく思うでしょうが、今はやすらかに眠ってください。そして小さな学校の私たちをお守りください。

さようなら。

町長日記から

五月二十六日は、合川町民にとって忘れることのできない日となった。地震津波で合川南小の四、五年生十三名が殉難。喜びいっぱいの海への遠足が、無惨にも死の帰還となってしまったのだ。

生きて帰ったものも、助かったのではなく、すべて助けられたのだ。

今さらながら男鹿市加茂青砂の人々の必死の救助に感謝しなければならぬ。

遺体の発見にもダイバーを中心に、がんばってもらった。こうなると山の人々は海難に対して、何ひとつできるものがなかった。私どもは人の情(なさけ)を

つくづくありがたと思う。合川南小で行われた五日の合同告別式、そして十二日の現地慰霊祭等、現地と町と二つに分れて訣別(けつべつ)の行事が持たれた。

この間、全国の人々からあたたかいお見舞いをいただき、いたけない児童の死は、わが事に置き換えてみて人々の涙を誘った。

再びあつてはならない地震津波の犠牲。そして人命の尊さ、安全の大切さを全国民が胸に刻むことができたとしても、あまりにも大きな傷であった。

(義)

この命とひきかえてほしい

胸が張りさけるような思いを

佐々木 喜久治

つじの赤が色どりを添えもう夏の濃さを増し燃えろよな山つ

右＝全国からの励ましの数々

、大友貞雄（山海丸 本川精
▽救助活動及び捜索活動
石川光広 吉田ヨシ 敦賀強
鎌田キエ 石川則子 石川明
大友一雄 石川幸治
▽町内（タイバー）後藤民三（下
杉）、三浦義広（三木田）三浦
剛（三木田）、高橋久則（八幡
岱）杉渕政和（杉山田）
敬称を略させていただきまし

悲しみの お別れ

合同告別式・現地慰霊祭



▲命を救われた子どもたち、悲劇をまのあたりにした地元の人たち。悲しみは消えない。



▲児童献花。108名の学校が95名になってしまいました。



▲物言わぬ13の遺影の前に、中学生の手で位はいが運ばれる。



▲「せめてこの思いが届いてほしい」と海への献花。



観音像に合掌する吉田金忠男鹿市長



▲緊急排水を行った上杉堤。雨期に入り警戒が必要だ。



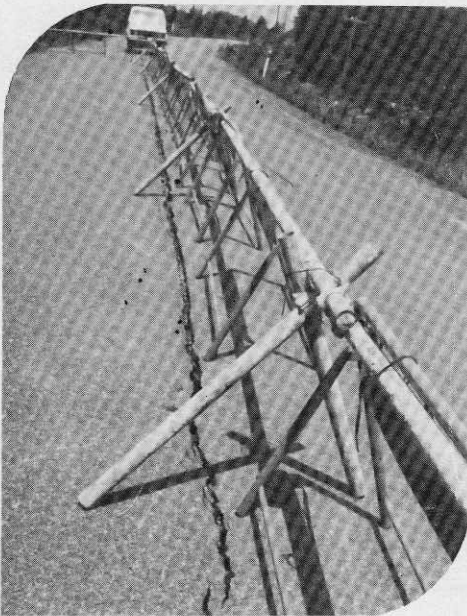
▲戸障子がはずれ、倒壊の不安におののいた。(増沢)

日本海中部地震は町内にも大きな被害をもたらしました。上杉地区と東保園では農業用水堤の堤防が欠壊する危険がため、一時避難するなどの対策がとられました。農免農道桃栄弥栄間は通行止めになっています。今後の強い余震や集中豪雨によって、危険が広がる心配もありますので注意してください。

六月十五日までの調べでは住家被害三十九戸、商店関係の被害六十件など、被害は全町に及んでいます。被害推計は次のとおりです。

住家被害 三十九戸 千二百九十万円 非住家、公共建物 二十七棟 千四百二十四万円 学校診療所 六棟 六百三十八万円 道路・水道 十七カ所 七千九百十万円 農業施設 七カ所 六億七千万円 商工被害 六十三カ所 二千七百七十七億四千九百六十二万円

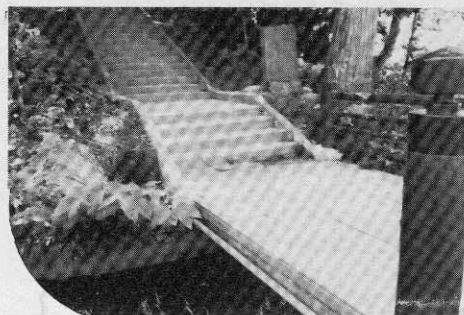
震度5 町内でも 大きな被害



▲き裂が入り、片側が大きく傾いた町道(美栄地内)



▲物置部分が危険になり、取り壊した住家(李岱)



▲鳥居が落ち、欄干がつぶれた橋(川井神社)

おしらせ コーナー

町のこよみ

- 六月
26日 参議院議員選挙投票日
- 30日 町民ゲートボール大会
- 七月
1日 中学校都市大会
- 10日 子どもの明日を語る集い
- 町内小学校野球大会
- 26日 町民森吉登山
- 27日 町民森吉登山
- 28日 阿仁部学童球技大会
- 29日 福祉運動会
- 31日 町民体育祭
- 八月
8日 町民体育館竣工式
- 10日 少年球技大会
- 14日 マト火・ふるさと祭り
- 15日 町民すもう大会
- 21日 体育館竣工記念招待バスケット大会

地震被災者の皆さんへ

税金の減額などについて

被災されたかたがたには、その被害額の程度によって所得税、県町民税、個人事業税などが減額されたり、また納税の期限が延長されるなどの方策がとられます。手続きについては、役場財政課または大館税務署などにおたずねください。なお、損害額を確認し記録しておかれるようお願いいたします。

住宅の復旧について

家屋や土地の復旧については住宅金融公庫の融資制度などがあります。農協、金融機関にご相談ください。

クマにご注意

大野台地内にクマが出没しています。一人歩きは特に注意が必要です。

自動車税は

六月三十日までに

自動車税の納期になりました。納期限は六月三十日です。すでに、県税事務所から納税通知書が送られていると思いますが、もう一度内容をよく確認のうえ、必ず納期限までにお納めください。

こんな人は
保険料が
免除に
年金

国民年金では、所得が少なかったり、地震などの災害に遭って保険料を納めることが困難などの場合、保険料が免除される仕組みになっています。

免除には、生活扶助や国民年金の障害年金を受けているなど、法律で定める要件に該当すれば、その間当然免除される「法定免除」と、所得がなかったり、医療扶助を受けているなど生活が苦しくて保険料を納められない状態にあるとき申請をし、その事情が認められて免除される「申請免除」の二通りがあります。

特に、申請免除には、地震風水害・火災などの災害に遭って、住宅や家財に損害を被った場合、特別に免除される規定があります。

保険料を納められないからといって、そのままにしておきますと、年金を受けられない場合もありますから、早めに相談し、手続きをしてください。

ただし、任意加入者は免除されません。

詳しいことは、福祉課へおたずねください。

忘れず一票・正しく一票

変わりました参議院選挙——26日が投票日



白い用紙
比例代表
(全国区は)政党名

黄色い用紙
選挙区は
個人名

地方区は
今までどおりです
「地方区は選挙区選挙」と

**個人でなく
政党を選ぶ**
今までの「全国区」が「比例代表」となりました。この改正は「候補者中心の選挙から、政党中心の選挙」に変わったものです。投票用紙には政党の名称(または略称)を書いて投票することになります。個人の名前を書いたものは無効になります。
選ばれた各政党の得票数によって、あらかじめ届け出している名簿により当選者が決まります。各政党の政策とその政党の候補者名簿などを判断して投票することになります。

**個人でなく
政党を選ぶ**

**全国区が
比例代表制に**
参議院議員の全国区制が改正され、拘束名簿式比例代表制が導入されました。新制度による初めての選挙が二十日に行われるわけです。この意味でも、今回の選挙は大切な選挙ですので、忘れずに投票し、また正しく投票しましょう。

**全国区が
比例代表制に**

有効に
比例代表制は、明治以来の日本の選挙制度始まって以来の大改正であり、慣れるまでにはとまどうこともあると思われまふ。しかし、制度が変わったからどうもよくわからないといった、棄権するといったようなことは避けなければなりません。
選挙は、私たち国民にとっていちばん身近な政治への参加であり、暮らしをよくするための意志表示です。
「棄権は危険」という言葉があります。貴重な一票を有効に使いましょう。

**棄権は危険
貴重な一票を
有効に**
比例代表制は、明治以来の日本の選挙制度始まって以来の大改正であり、慣れるまでにはとまどうこともあると思われまふ。しかし、制度が変わったからどうもよくわからないといった、棄権するといったようなことは避けなければなりません。
選挙は、私たち国民にとっていちばん身近な政治への参加であり、暮らしをよくするための意志表示です。
「棄権は危険」という言葉があります。貴重な一票を有効に使いましょう。

**棄権は危険
貴重な一票を
有効に**

くわしくは役場内選挙管理委員会または各投票所の係におたずねください。

小学校陸上記録会

桜庭直美さんが新記録
平川祐樹君

町内四小の陸上記録会は、五月十九日、中学校グラウンドで開かれました。四年生以上の児童が参加するこの記録会は、年々、応援席もにぎわいをみせています。成績は次のとおりでした。(敬称略)

百歳女子四年①高橋麻衣子(東)一六秒七六 ②成田和歌子(東)一六秒七六 ③米倉り(東) ④正田双葉(東)一六秒二四 ⑤沢藤美嘉子(東) ⑥酒井美幸(西) ⑦奈良佳代子(北)一五秒三六 ⑧佐藤公子(北)一五秒三六 ⑨男子四年①金純二(東)一五秒六〇 ②大会タイ記録 ③平川祐樹(西) ④山上岳彦(南) ⑤五年①福田肇(南)一五秒四七 ②関哲也(東) ③藤島和紀(北) ④六年①伊東利光(南)一四秒八九 ②後藤信一(東) ③金田弘次(東)

六百歳女子四年①成田和歌子(東)二分一〇秒〇四 ②山岡加奈子(南) ③金田陽子(西) ④女子八百歳五年①桜庭直美(東)二分四九秒六〇 ②大会新記録 ③齊藤清美(西) ④福岡真理子(南) ⑤六年①成田真紀子(西)二分四七秒二〇 ②奈良佳代子(北) ③奈良梅子(北) ④男子八百歳四年①平川祐樹(西)二分四三秒四〇 ②大会新記録 ③成田正和(西) ④金純二(東) ⑤千賀男子五年①藤沢宏明(東)三分三三秒七〇 ②正田定晴(東) ③藤島和紀(北) ④六年①藤島友信三分二一秒二〇 ②後藤信一(東) ③伊東利光(南) ④四百歳リレー優勝 ⑤四年女子①南小学校 ②五年女子①西小学校 ③六年女子①北小学校 ②四年男子①南小学校 ②五年男子①西小学校 ③六年男子①西小学校

私たちが広報をお届けします

この広報は、中学校生徒会の協力で各家庭に届けられます。生徒会では町民の一人としての自覚と責任を育てることなどのねらいから、広報配布を行っているのです。町政と家庭を結び、パイプ役・中学生の活動を暖かく見守り助けてください。今年度の広報関係のみなさんは次のかたがたです。

増沢 杉湖 安部利秀 杉湖和仁 杉湖義仁 杉湖幸二 杉湖清則 小笠原智枝 奈良高子 李岱 木村一衛 成田佳子 木村尚子 桜庭順子 木村博 平川恵理子 木村真 平川昌則 成田あけみ 伊島万里子 川井 佐藤義人 吉田博 佐藤敏明 佐藤佳奈子 佐藤祐子 阿部育一 吉田一成 吉田千秋 津谷潤子 吉田明子 佐藤徹 三里大内沢 成田康子 福岡美千子 芹沢 土濃塚江里子 土濃塚静子 下杉梅栄 桜井英喜 後藤宏之 後藤淳 後藤靖子 桜井

磨乃 木村直子 木村陽子 関明子 上杉桃栄 和田一幸 工藤さとる 正田秀幸 阿部真彦 三木田摩当 金田義久 金田真子 松橋美樹子 北林加奈子 三浦志保子 三浦志織 三浦和歌子 三浦聡 三浦一成 三浦真由子 西根田 桜田静 金田由香 桜田国彦 東根田 桜田美加 桜田志保子 桜田淑子 佐藤佳子 佐藤理 金沢 関一男 山田日登美 弥栄 金啓一 郎 金澄子 八幡岳 高橋靖子 藤田友美 伊勢久美子 白渡佳也 美栄 沢藤一 成松明善 道城 小林恵美子 北林里史 松橋博章 松橋幸久 松橋美香子 森岡のぶ子 木戸石 佐藤孝孝 藤島幸成 佐藤宮徳 沢藤昌洋 沢藤伸 佐藤一彦 藤島英樹 藤島重紀子 佐藤美奈子 藤島恵子 佐藤昌子 駅前 沢藤貴子 成田博樹 船木真琴 安部厚志 花田まりこ 武石大志 工藤智亜紀 山田明子 伊藤博行 佐藤咲紀子 工藤茂宣 佐藤由美子

ふるさと昔話 めぐり③ めぐすりえどこ



昔、弘法様が馬に乗ってずつと阿仁の沢がらまわってきたら、そこがわんずかの道路で、小屋つこが三軒たつてあったけど。

一軒目の小屋つこさ入って「のど乾いて水飲みたえども、水つこねえし、何とか一杯飲ましてけれ。って言ったんだも、その小屋つこの人は「水悪いして、とつても飲まひらえなや。って断った。弘法様はとばとば行つて次の小屋つこみてえな家に行つたのんだら、「とつても水悪いして飲ませるえな水でねえ。って、まだ断らえだ。まだとばとば行つて三軒目

の家さ入らば「この水だば、とつても飲めねえんで、今いい水つこんできて飲まひるがら、休んで待つてけれ。してやべって、じまが水くみに行つた。そして行つてるうちに、弘法様の馬がそこでズボツと両足がぬがったんだ。そしたらその足跡がら、ええ水がムラムラ湧いて来たんだ。それが目黒井戸つこになった。

八幡岳

伊藤都 伊藤ひろみ 柴田博幸 七尾良行 今泉悟 村形由香 佐藤和徳 米倉千春 佐々木竜也 松岡香奈子 工藤豊子 小関淳哉 越光光広 鎌沢 加藤るみ子 福田一博 杉山田 伊藤幸生 伊藤悟 伊藤美和子 伊東由希子 雪田 山岡純 羽根山羽立 松岡幸彦 金田剛 田中美子 松岡千春 松岡たかし 藤岡美由紀 藤岡まゆみ 藤岡ひでのり 新田目 齊藤博美 金田ひとみ 金田輝義 安部恵子 安部和人 福田 松井樹

○お誕生おめでとうございます
松岡貴貴 利正二男 駅前 金田里香 富衛二女 羽根山 佐々木健太 恒 長男 木戸石 沢藤晃基 家次男長男 美栄 藤島一喜 昭一長男 木戸石 中田雅大 茂 二男 三里 金田瑞穂 侃文長女 羽根山 平川祐介 広明長男 李岱

善意のご寄付

(香典返しにかえて)
安部宗夫 増沢(故父 弥宗治) 近藤喜代治 李岱(故母 フヨ) 武田ルリ子 駅前 (故母 戸嶋花江)
(広報郵送代として)
新潟市大形本町 木村美代子

慶弔だより
5月届

●謹んでおくりやみ申し上げます
佐藤ナツ 清治 母 八幡岳 安部弥宗治 本人 増沢 近藤フヨ 喜代治 母 李岱 村井龍明 本人 金沢 加藤ミヨ 一雄 母 鎌沢 佐藤友治 本人 弥栄 岩淵ミキ 久二 妻 李岱 安部リノ 和芳 母 増沢 土濃塚信子 謙一郎二女 芹沢 福岡有希子 幸悦長女 三里 福田綾子 富市長女 鎌沢 伊東史穂子 昭三長女 杉山田 福岡 忍 信治長男 三里 三浦民子 欽一長女 三木田 加藤久也 修二長男 鎌沢 金田正義 弥逸長男 摩当 伊藤宗昭 昭彦長男 杉山田 三浦紀子 清一長女 三木田 三浦卓也 新吉二男 三木田 山上岳彦 春秀長男 三木田 伊藤晃子 六郎長女 雪田

美しい町をみんなの心で
▽ゴミの投げ捨て、不法投棄はやめましょう。
▽投げ捨て場所などを見つけたら役場保健課に
お知らせください。▽河川付近への不法投棄は
罰せられます。

